



関東地方労組生産性会議 議長  
大喜多 宏行

関東地方労組生産性会議(略称「関東労生」)は、1959年の結成以来、産業や業種、組織の枠を越え企業別労働組合を中心とした労働組合の立場から生産

性運動を展開していません。

関東労生では、生産性の向上を企業の収益向上の手段という側面だけでとらえるのではなく、「人間性の尊重」

の精神に基づくものであることを確認してきました。

時代はさまざまに「変化のとき」でありますので、人間性尊重、そして労働の尊厳を基調とした「労働組合による生産性運動」の意義を再認識した上で、変革の時

代における創造的労働組合活動の展開を目指し、諸活動を推進しています。

具体的な活動内容について紹介したいと思っています。

## 変革の時代における創造的労働組合運動の推進

催し、学識者等の講師による時宜をとらえたテーマでの講演を行っています。

「労政部会」では労働組合にとって重要な施策や取り組み等についてうかがっています(今年度「経済産業省」)

アステラ  
ス労働組合

「労使

とを目的に講義を行っています。

また、数年に一度、「海外視察」を行い、現地企業等の訪問を通じてその国の労働事情について学ぶこととしています。

関東労生は、2019年の結成60周年を見据えつつ、引き続き、

主な行事として、「定例総会」(6月)、「常任委員会・シンポジウム」(11月)、「定例研究会・新春のつどい」(1月)を開催しています。それぞれの会では記念講演等を併

研究活動として、「国内研究会」では会員組織の工場等施設見学を行うとともに、安全衛生等について労使双方の取り組みをうかがっています(今年度「本

関係実務基礎講座」では新任労組役員向けに、労働組合の現状と課題、労使協議、職場コミュニケーション、労働法、安全衛生法等、労組役員に必須のテーマを学んでいただくこ

産業や業種の垣根を越えて多くの労働組合が参画する組織の特性を生かし、労組活動の質的強化や労組役員のネットワーク強化に向けて取り組んでいく所存です。